

まつおか
松岡あつし

1985年5月22日 千代田区生まれ。明治学院大学法学部卒。一橋大学大学院国際・公共政策教育部修了。まちづくりに携わる民間団体代表（理事）。

東京都議会議員
(小平市選出)

小平市のみなさまの声を東京都に届けました！

— 令和7年第4回都議会定例会で一般質問した内容を中心にご報告します —

1 踏切対策



質問：都内には約1,040箇所もの踏切があり慢性的な渋滞、安全リスク、地域の分断、まちづくりの阻害要因となっています。小平市の踏切解消や道路と鉄道の立体化は20年以上進んでおらず、ピーク時遮断時間39分の花小金井駅周辺・45分の小平第1号踏切などの解消を求めました。

答弁：都は今後、鉄道事業者等と連携を強化し着実に踏切対策を推進していくことが示されました。

2025.12.11 読売新聞に掲載されました！

Q.都庁でも男女ともに活躍できる職場づくりを進めるべき
A.女性の健康課題をオンラインで相談できる仕組みを導入、生理休暇の名称を変更し（健康管理休暇）、取得者の心理的ハードルを下げるなどさらなる取り組みを進めていく。

2 市町村下水道の浸水対策への支援

質問：近年、局地的集中豪雨が頻発しており、小平市では猛烈な雨で市が管理するマンホールの蓋が飛散する状況が発生しました。市町村下水道の浸水対策に対する都の支援について伺いました。

答弁：都は計画策定の技術講習会を実施しています。これに加え、豪雨に伴う被害やトラブル事例を踏まえ、都が持つノウハウを共有するなどの技術支援や、強靱化補助により、小平市などを支援しており、今後も財政支援を行い、多摩地域の浸水対策を強力に推進していくことが示されました。



3 小学校における不登校の未然防止対策

質問：現行の不登校の予防対策は中学校に集中されており、小学校における不登校を生まない取り組みが必要です。現在の対症療法的政策に加えて予防政策がないため小学校段階での支援員配備・出席率等を把握分析した施策、作業療法士などの多様な人材活用を求めました。

答弁：都は今後、小学校の教室で担任の教員と協力し、対応をきめ細かく行う支援員を配置する区市町村を後押しして不登校への対応を着実に進めていくことが示されました。



4 障害児保育について

質問：小平市の障害児保育現場では、R2年84人からR6年121人と増加し、受入れ加配による赤字が負担となっています。そこで、ニーズに応じた保育の提供が行えるよう支援を求めました。

答弁：都は、保育事業者や区市町村の取り組みを支援するとともに、専門的な研修を支援しています。今後も、保育を必要とする障害児がサービスを確実に受けられるよう自治体や保育現場の実態も把握しながら、区市町村の取組を支援していくことが示されました。



5 ホームドアの設置について (2025.11.18 都市整備委員会にて)



質問：小平市には7つの駅があるが、いずれの駅においてもホームドアははまだ整備されておらず、その整備について、取り組みを伺いました。

答弁：花小金井駅が、都の制度を活用し令和9年度までに整備予定であることが示されました。補助制度は令和10年度までの時限的措置であり、他の駅にも整備するには、現状は小平市に補助制度の要綱がないため、市に必要な取り組みを促すなど、都の対応を求めています。

都民ファーストの視点で政策提言しました！

6 農産物の高付加価値化と多様な人材確保について

質問：農産物の知財化やブランド化など、付加価値向上に向けた取り組みの強化や、東京の農業・農地を守るための農家の後継者の支援、半農半Xをはじめ、多様な人材確保の強化を求めました。

答弁：都は、東京産農産物のブランディングのため、商品開発や知的財産活用を後押しして、農産物の高付加価値化と農業活性化につなげていくことや、多様な活動ができる拠点づくり、都市農業を学べる講座や人材を繋げるためのワークショップを推進し、今後はこうした取り組みに加え、若者や様々なキャリアを持つ方を農業に結び付ける後押しも検討していくことが示されました。



7 区市町村に対する AI 活用への支援について



質問：生成AIの活用ができていない自治体も見られ、取り残される自治体が出ないように、GovTech 東京の技術力も活かして、都内区市町村に対する支援を求めました。

答弁：都は今年度、37自治体の参加を得て、生成AI活用をテーマにしたプロジェクト型伴走サポートを実施します。この中で GovTech 東京が提供する共通のプラットフォームを用いて、仕様書作成等のアプリ開発を支援していくことが示されました。

8 江戸文化の世界遺産への取組

質問：小平市には、江戸時代に築かれ、豊かな水と緑で魅力となっている玉川上水が流れています。400年にわたり多摩川の水を供給し続ける土木技術は江戸を支え東京が世界に誇るものです。

都は江戸文化の有識者会議を設置しましたが、江戸文化の世界遺産登録を目指す意義を問いました。

答弁：都は今後、関係機関と連携し、個々の文化資源の専門的、学術的な価値の整理を進めること、また、江戸が育んだ文化を世界に発信し、東京のプレゼンス向上に繋げていくことが示されました。



9 小中学校での体験を通じてた学び

質問：小中学校での体験学習において「非認知能力が高いと、教育達成・雇用・賃金ともに恩恵があり高い社会への投資収益率がある」ことが確認されています。起業家学習や環境学習等の小中学生向けの事業展開を求めました。

答弁：都は、子供たちに対し経営者の話を聞き創業のプランを作るワークショップを紹介し参加者を増やしています。

また、自然に触れ環境問題を学ぶ授業を行うため教員に様々なノウハウを提供する取り組みも進めています。

今後は体験を通じた様々な学びに係る優れた事例を幅広く紹介していくことが示されました。



10 東京都の新たな文化芸術祭について

質問：アートをはじめとする芸術文化は都市の魅力として国内外の観光客を呼び込む力です。

多摩地域や各地で文化に触れる場を広げ、芸術文化で世界の注目を集めることを求めました。

答弁：都は来年度よりクリエイティブの力で新たな価値を生み出す文化芸術祭を立ち上げます。

都内の各地域の催しを巻き込みながら、観光部門をはじめ関係局や企業・団体等とも連携し、プログラムや広報の充実を図ります。開催を機に、街にアートのある景色を広げ、東京の魅力を国内外へ発信していくことが示されました。



まつおか
松岡 あつし

東京都議会議員(小平市選出)

都政・都議会についてのご意見・ご要望をお聞かせください

公式 HP : <https://matsuoka-kodaira.com>

TEL : 090-6549-0596

MAIL : atsushimat05@gmail.com

